

第26回うらじゃ 踊り連代表者報告会 次第

日時：令和元年9月13日（金）

時間：19:00～20:30

場所：西川アイプラザ5F

1. 開会

2. 資料の確認

資料1 第26回うらじゃ 踊り連アンケート結果

資料2 第26回うらじゃ 実行委員会反省シート

3. 第26回うらじゃ実行委員長挨拶

中山実行委員長

4. 報告事項

・第26回うらじゃ表彰式

・第26回うらじゃ踊り連アンケート結果について

総務部会

・第26回うらじゃの反省点について

各部会

・その他

5. 質疑応答

6. 岡山市観光振興課 課長挨拶

小川 祥子課長

7. 閉会挨拶

尾崎副実行委員長

8. 閉会

第26回うらじゃ踊り連アンケート

～集計結果～

◀ 回答連数:48/118 ▶

1. その目標は達成できたか
2. 練習場所でのトラブルの有無
3. 本祭を楽しむための工夫
4. うらじゃの今後について
5. 踊り連間での交流の有無
6. 感想
 - ①良かった点
 - ②気になった点
 - ③より良くするための改善策
 - ④踊り連としてできること
7. 事務局からの情報発信について
8. 審査について

《質問1》「うらじゃ」への参加にあたり、踊り連の中でどんな目標がありましたか。そして、その目標は達成されましたか。

	どんな目標ですか？	達成されましたか？
1	・とにかくたくさんの方に岡山に来てもらい、少しでも岡山の良さ、うらじゃの楽しさに気付いてもらえること。 ・多くの会場で踊ることで、岡山を盛り上げること	・達成できているといいな、と思います。
2	みんな笑顔で踊りきる	達成できました。
3	酷暑の中で体調管理をチームとして、個人としてしっかりしながら、祭りに参加する。笑顔で踊ることで、祭りを盛り上げる。他のチーム間ともハイタッチや挨拶をして連携する。	水分、塩分補給、休憩などしっかりしてはいたが、より踊り子、スタッフ管理をチーム内でも徹底しなければと反省した。
4	今年は昨年よりも踊り子の数が減りましたが、今まで以上に頑張って練習しました。小さい子供も加わり大人と一緒に頑張りました。大人だけでなく幼児・小・中・高校生と一緒に踊るという目標。	達成されました。
5	踊り子全員で、観てくれる皆様に心から感謝の想いや楽しさを、踊りに込めて届けることでした。	達成出来たと思います。 皆様から暖かい笑顔と拍手を頂きました。
6	笑顔で元気でうらじゃを盛り上げよう！！	1人の脱落者(熱中症)もなく楽しく終えることができた
7	① みんなで楽しく無理なく頑張る ② 笑顔で踊り切る	① 数名熱中症になりましたが頑張れました ② 暑い中出来る限り笑顔になれました
8	こども演舞場讀4連覇	今年は残念ながら賞をもらうことはできませんでした
9	○笑顔で踊る。 ○縦列、横列を意識する。 ○練習した成果をお客さんやおうちの人にみてもらおう。	翌日、子ども達に感想を書いてもらったが、「笑顔で踊れた」「間違えずに踊れた」「おうちの人に、去年より上手になっていたよ」と褒められた」等の感想があった。 列については、1年生から6年生までいるので、低学年は列を整えることが難しい。高学年はそろっていた。
10	最後まで全員で踊りきる。	達成しました。
11	全員で倒れることなく踊りきること。	最終演舞まで全員で出演できました。
12	楽しく、安全に 部署、年齢の壁を越えて親睦を図る	達成
13	全員がとにかく元気に楽しく踊りきる。	達成しました。
14	・酷暑の中でのうらじゃ開催。熱中症などの不安がありましたが、踊り子やスタッフ全員で誰1人体調を崩すことなく2日間乗り切ること。 ・連の全員が総おどりを終えた時笑顔で終われるようにすること。	・体調管理には充分気を付けていましたが、1人が熱中症、1人が転倒による骨折。。。と全員で2日間踊りきることは出来ませんでした。 ・途中でリタイアした踊り子スタッフの分まで、他の踊り子達は笑顔で頑張る、スタッフもより体調管理に気を付けてくれました。そして、総おどりが終わった時に『楽しかった。来年は全員で踊りたい』と笑顔で話してくれたので、目標は達成出来たと思います。
15	熱中症等で誰一人欠けることなく全員で楽しく踊り切ることです。	達成出来ました。
16	盛り上がり+人との出会いを大切にす。	他連、裏方、うらメイクをした観客へ積極的にハイタッチをし、ハイタッチプロジェクトへの参加もできたので達成できたと思う。
17	今年で最後の年でしたので、感謝の気持ちを込めて参加することです。	パフォーマンスの内容やMC等でその気持ちを表現していきました。チーム全体では感謝を表現できたのではないかと思います。
18	誰一人欠けることなく、笑顔で踊りきる	達成しました
19	子供も大人もうらじゃを楽しむ	達成できました
20	怪我無く安全に踊る	熱中症で倒れる人もありましたが、スタッフが連携し、無事回復致しました。
21	笑顔の花を咲かせよう	十分達成。例年以上に年齢幅が大きいメンバー構成ではあったが、一人一人が今できる最高の踊りで、うらじゃを楽しむことができた。暑さの中、いつも笑顔を保つことはなかった。
22	チーム全体が桃太郎祭りに向けて気持ちを1つにして、一人一人を支え合うこと、そして全力で楽しむこと。	達成できたと思う
23	毎回のことですが皆で楽しく踊ることです	今年も踊り子一同満足しています
24	楽しく、仲良く、岡山の祭りを楽しむ。	はい。
25	・地域の人や参加されている方に挨拶する ・うらじゃに関わってくださる皆様に感謝の気持ちを込めて演舞する	・1日目には足りない部分がありましたが、それを連全体に呼びかけ2日目には達成できるようになりました。
26	1会場でも多く演舞に周り、1人でも多くのお客様に俄嘉屋を知ってもらい感動を与えること。	2日間で24会場の演舞をさせていただきました。 多くの方に俄嘉屋を知ってもらえたと思います。
27	演舞を通して岡山のこと、うらじゃのことを知ってもらい、好きになってもら	まだまだこれからだと思っています。
28	・踊り子・スタッフが丸一となって練習・本番に挑み、一体感や達成感を醸成させる。 ・企業連として団体行動に心掛ける(マナー等)	達成された。
29	まず、お客さんを楽しませること。それを1番に考えお客さんを楽しませるために何をしたらいいか、お客さんを楽しませるためにまず自分が精一杯楽しむことを忘れず、うらじゃを楽しみました！	達成できたと思います
30	元気いっぱいの踊りと笑顔で岡山を元気にしたい。	見て下さったお客様に元気ときびだんごを届けることができた。
31	誉の受賞	達成された

	どんな目標ですか？	達成されましたか？
32	・全員無事にうらじゃを終える ・全員個人メダルをもらう ・笑顔で踊る	・全て達成しました。
33		
34	①連のメンバー皆で紫月のうらじゃを作り上げること ②賞を受賞すること	①達成 ②未達成
35	友達と力を合わせて楽しく踊る。	達成された。
36	・岡山の街を盛り上げる ・うらじゃへ参加することを通じて、岡山の街、そして地域の方へ190年分の感謝を伝える(天満屋が創業190周年だった為)	・見て下さった方の温かいご声援や、反響を沢山頂き、上記の目標は達成できたのではないかと考えます。
37	しっかり楽しむ。 熱中症にならない。 友達をつくる。	体調不良になるメンバーもおらず、みんなしっかりと楽しむ事ができました。 交流の輪も広がり、たくさんの友達ができました。
38	世界各国から来た学生達が協力して楽しく踊る。	された。
39	一体感のある踊りが出来るように取り組む	当初の踊り子が欠けることなく参加できたので一定の成果はあったと思われる
40	全員熱中症などの体調不良や怪我等をせず、最後まで楽しく踊る	達成しました
41	仲間と一緒に楽しく踊り、見て下さる方に元気な気持ちを届け、保護者や支えて下さる皆様やお互いへの感謝の気持ちを深め、ダンスの技術を高めていく。	達成いたしました。
42	①踊り子とサポーターが一体となって、初参加ができる準備をする ②川崎学園の職員としての参加であり、他のチームとも挨拶等の礼を尽くす。 ③地域貢献ができるように踊り子とサポーター全員清掃活動に積極的に参加し、岡山市の地域住民であることを更に自覚する。	準備段階からチーム全員で分担し参加できた。当日もサポーターと踊り子の連携で参加でき、当日も不参加者が出ることはなかった。 地域清掃に参加した人は、他のチームとの交流や岡山市をきれいにする活動の大事さを自覚できた。
43	吉備人としては「結」ということをテーマに参加させて頂きました。 チームメンバー同士のつながり、そして見に来てくださる観客の方とのつながりを大切にして参加いたしました。	達成されたと考えています。 メンバー多くの方がうらじゃを楽しむことができましたし、総踊りではたくさんのお客様を呼び込み一緒に踊ることができました。
44	地域の祭りを親子で楽しむ 親子以外の地域の大人との交流	十分に達成されました
45	元気いっぱいがんばろう！	達成しました。
46	連のみんな元気に踊りきる。	達成できました。
47	出場する全員が楽しく2日間過ごせて 誰も熱中症で倒れないこと。	達成できました
48	祭りを一番盛り上げる団体としてうらじゃ祭りを盛り上げることを目標としました。	自分の連を見に来てくれるお客様も多くいらっしゃることを目・肌で感じることができ、お客様を楽しませて、祭りを盛り上げられたと感じました。

《質問2》練習場所でトラブルなどはありませんでしたか。
あった場合には、詳細を教えてください。
(場所と時間とトラブルの内容など)

有	1
無	44

詳細	場所:岡山ドーム 内容:8:30を過ぎて鳴り物を鳴らしていたチームがおられたため、お声をかけました。 すぐに対応して下さり、トラブルにはなりませんでした。 事前に通達がない日に練習をしたら、本日は禁止日だと言われました。 もし事前にわかることがあれば教えていただけるととてもうれしいです。
-----------	--

トラブルがないと書かれた連は、協力をして下さった周りの方への感謝の気持ちを多く述べられておられました。

《質問3》本祭を楽しむために、どのような工夫をされましたか。そして、次年度はどのような工夫をされる予定ですか。

	本年度の工夫	次年度の工夫
1	・できるだけ多くの会場でエントリーを行い、たくさんの方々に見ていただくこと。 ・子供達の健康管理(熱中症にならないように、水分補給や休憩を入れたりしました。) ・SNSで岡山やうらじゃについて発信をしたり、ハイタッチプロジェクトへの参加などで、踊り連同士の交流を行ったこと。	・本年度の工夫を来年度以降も継続していくこと。 ・他の踊り連同士の交流を今後も行っていきたい。
2		事前エントリーを効率的に使い、体力的に無理のないスケジュールを作りたい。
3	演舞間の余裕をもった移動や、暑さを凌ぐようなルートの事前調査、電車などの利用も行った。ひとつでもたくさんさんの演舞会場でお客様にお会いしたかったので、無理のない程度だが、一日6-7会場に参加した。メンバー同士で体調管理など声をかけあった。2列対応や挨拶を積極的にすること。	まずは本年度の実績を元に対応したい。演舞の順番待ちの時に、ひとつ前のチームをしっかり応援する、お客さんが少ない演舞場にもエントリーすることで、自分たちの家族や知人が演舞場に足を運ぶようにし、各演舞場を盛り上げたい。
4	体調が悪くなって踊れなくなったり、運営される側にもご迷惑がかからない様に体調管理はしました。13:00~15:00は休憩を取る様にスケジュール調整しました。	次年度も体調管理をしっかりやりたいです。踊り子が揃って演舞できる様に。
5	・練習に励み、当日精一杯踊りました ・当日は熱かった為、踊り子が倒れないように塩分と水分をこまめにとりました ・当日のスケジュールを事前に組み、時間を余すことなく踊ることができました。	今年度と同様に事前に計画をたてます。
6	踊りのスケジュールの工夫、休憩場所にホテルを利用	本年度同様
7	暑い中歩くのをわかっていたので荷物を出来るだけ少なくし、現地で手に入るものは現地で購入	今年はやうらじゃ食堂が満タンにて取れなかったのので来年は一早く確保したいと思います
8	なし	なし
9	総踊りで踊る、うらじゃ音頭の練習も例年に比べて多くした。興味を持つ子ども年々増えてきた。手をつないで回るところが楽しいようだ。	総踊りの楽しさも子ども達に知ってもらえるように工夫したい。総踊りに参加したことがある子から広められたらいいと思う。
10	全ての演舞場を事前エントリーで登録しました。	演舞を詰め込まず、当日エントリーも利用しゆとりのある演舞を行いたい。
11	小道具の作成、少人数振りの作成	今年作成した小道具を生かす。
12	熱中症対策、駐車場対策(ジョイポリスないため)	引き続き熱中症対策
13	体調第一と自己管理を踊り子に徹底させました。踊りのクオリティよりも楽しく踊るよう心掛けさせました。	本年度同様です。
14	・体調管理を一番に考えました。休憩時間を多くとったり、自分達が踊るだけではなく、他の連を観たりうらじゃ祭を楽しめるような日程にしました。	・このまま今の日程での開催となると、体調管理が難しくなると思います。いくら気を付けていても酷暑から体調を崩す人も多くなり、踊りやうらじゃ祭を思い切り楽しめない気がします。実際、熱中症になりリタイアしたり救急車で何人も病院へ搬送されたり。。。想定内のこともかもしれませんが、こんなことではみんなに愛されるうらじゃでは無くなり、うらじゃ関係者だけが孤立した状態で非難されるだけだと思います。 うらじゃが大好きだからこそ、日程の検討をお願いします。 質問とは違った回答かもしれませんが、次年度も連の全員が笑顔で2日間を終えられるよう、みんなで話し合いながら作り上げていきたいと思っています。
15	練習の時からルールを守るように連全体に伝えておき、ルールを守った上で、今まで頑張ってきた仲間達と楽しむようにと踊り子に伝えていました	今年度は本祭当日のスケジュールがハードだったので少し余裕のあるスケジュールを組めたらと思います。
16	ハイタッチプロジェクトの積極的な参加で交流と笑顔を大切にしたい。	お客さまも笑顔でできるような演舞や(継続されれば)ハイタッチなどの交流を継続する
17	常に進化し新しい物づくりを目指し、オリジナルですがうらじゃ原曲を歌ったりしました。	今年でラストイヤーでしたので・・・ 来年度はガーデンナイトで1曲限定のショーケースを披露させていただきます。
18	・観客の手拍子のテンポをコントロールして、一体感を出す。 ・観客と触れ合う。	・観客と触れ合う。 ・温羅伝承を取り入れたテーマを使って、踊り以外でも何か仕掛けてみたい。
19	振り付けと衣装の統一感を出すようにした	本年以上に練習してより一層の統一感を増す
20	今年度から6歳の踊り子に出演していただきました。	来年度も若年層の踊り子を増やしていきたいです。
21	例年通り、オリジナルの缶バッジを製作し、踊り子とスタッフに配っており、それを集めるのを楽しみにしている子どもたちも多い。	検討中。基本的には毎年していることを続け、いつでもだれでも参加できる家族的な連にしていく。
22	週三回の練習を行い、お祭りにも積極的に参加した。あえて、暑い場所での練習を行った。	昨年は雨が多く、練習ができない日が多かったため別の施設を借りるなど早めの対策を行った。
23	小さい子どもが多いので毎年のことながら子どもが主役となるよう衣装も踊りも気をつけています	未定
24	無理のないスケジュール調整	本年度と同じ
25	・お祭りが終わるごとに中心メンバーで良かった点と反省点をあげ、次のお祭りが良いものになるように活かしていきたい	本年度の工夫はもちろん、オフシーズンとなる秋冬にもメンバーで話し合い良いものにしていきたいです。
26	わりと人数の多いチームなので、全員で踊れる演舞場が限られています。2班に分けて移動し、順番に演舞しました。	また同じぐらいの参加者が集まれば、同じ様に分かれての演舞をできたらと思います。 体調の悪い人には休憩してもらい様に体調確認の声掛けもしっかりして行きたいと思っています。

	本年度の工夫	次年度の工夫
27	踊り子の体調管理をしっかり行い、塩分、水分補給をこまめに実施することで、全員が総おどりまで楽しめるように気を付けました。汗拭きシートを使用することで、体温を下げることができ、効果が高かったように感じています。	体調管理は同様に実施するとともに、他連との交流の機会を増やし、本祭中にお互いを応援し合えるようにしたい。
28	・自分たちで試行錯誤して考えたことを実践させた。 ・練習運営は踊り子リーダーへ一任させた。	左記と同様。
29	まず、1人も倒れることないように水分、塩分を十分に取らせました。	本年度と同じく熱中症対策をしっかりします。
30	桃太郎や鬼・イヌ・キジ・サルなどで踊り見て楽しめるようにした。	衣装を変更したい。
31	うらじあの心得十か条・テーマなどを全員に浸透させたこと。これにより、「企業連として、若手の社内イベントにすぎず、ただ踊るだけ」であったうらじあの、「うらじあの根本を理解し、踊って楽しみ、地元企業として岡山を盛り上げる」という意識づけに昇華させることができた。	本年度の継続。
32	・水分補給ができるように、クーラーボックスを積んだカートの用意 ・軽食の用意 ・演舞時間を詰め込みすぎないようにする。	・本年度並みで検討中。
33		
34	体調不良者が出ないように、しっかり休息と昼食をとらせる	今年と同様
35	4, 5歳児が出場したが、他のクラスの子どもにも踊るところを見てもらった。	出るクラスだけではなく、園全体で応援する。
36	・演舞中に、お客様に向けて掛け声をする時、振りを敢えて定めていないパートを設けた。 フリーに踊り子が踊ることにより、前後左右さまざまな方向から演舞を見て下さる方に視線が送れ、また感謝の想いを直接視線を向けることで伝えることができた。	・踊り子と観客の方が一体になって、すぐに真似て踊れるようなパートがあると、より楽しんでいただけるのではないかと思う。ぜひ実行したい。
37	移動の際、ルートの確認を事前においた所。	
38	総踊りに参加する。	事前エントリーをする。
39	全員が仕事終わりに練習を行っていたため機会を設けて親交を深めるタイミングがなかったのでプチ打ち上げを開催して、楽しむことができた	次年度はメンバーが決まった時点で交流会などを行って、より一体感を作りたい
40	熱中症対策を昨年以上しました	同様
41	初参加のメンバーでも無理なく会場を回るためのスケジュール	初参加のメンバーでも無理なく会場を回るためのスケジュール
42	当日は最高の笑顔で臨む予定で参加した。また熱中症対策での適時の給水に工夫した。	・パフォーマンスのレベルを上げて満足のいくものになりたい。 ・給水のタイミングを待ち時間の時にも追加したい。
43	・演舞エントリーについて子供たちも参加することを考慮しあまりたくさんエントリーしないようにしました。また移動ルートを考慮してなるべく移動が少ないようなエントリーをしました。 ・熱中症を予防する対策をチームマネージャーに行ってもらいました。(水分や塩飴を持ってもらうなど)	・メンバー同士が練習早期から仲良くなれるようにレクリエーションの機会を増やす。
44	より多くの人に関わってもらう為、費用・時間面での負担軽減	世話人の負担を、参加者が楽しめる範囲で分担する
45	子どもたちだけで踊ってみた。	大人の参加を検討。
46	パレードに出なかつたので演舞場をたくさんまわるように時間を調整しました。	子ども達がいるので、熱さ対策や演舞場を中心にまわるのができたらいいと思います。
47	空き時間に休憩ができるように控室の確保を行った。	上記同様
48	お客様の顔が良く見える会場、触れ合える会場がほとんどなので、一人一人を楽しませる意識をもって演舞しました。今年の演舞に不可欠なタオルを使ってお客様も参加型の演舞を目指しました。	祭りを盛り上げる団体として、お客様にも参加して頂けるような工夫をしたいと考えています。

《質問4》「うらじゃ」は今後、どうなると良いと思いますか。
また、踊り連としてできることはどんなことだと思いますか。

	こうなると良い	踊り連としてできることは
1	・全国に広がる「うらじゃ音頭」発祥の地として、他の地域からも岡山にたくさんの方々が来て、岡山市の方々からも認められるお祭りになるといいと思います。また、海外からも「うらじゃ」での総踊りのために来た、という方が増えるといいなあ、と思います。 ・子供の頃からうらじゃにふれ合うことで、夏にうらじゃを踊るのが当たり前、という祭りになるといいと思います。	・お祭りやSNSなどを通じた県内外へのうらじゃのPR、うらじゃ総踊りの魅力などの発信、うらじゃを作った方々の想いをいろんな人に伝えること。 ・子供連にうらじゃを作った方々の想いやみんなで踊る総踊りの楽しさを伝えること。 ・うらじゃの開催は当たり前ではないこと、沢山の方々への努力や想いがある、開催できていることを伝えること。
2	認知度が上がり、踊り子、運営スタッフ、観客の増員になり岡山を代表する祭りになるといい。まだ伸びしろがあると思われる。	実行委員会、振興会と協力し実現可能性が少しでもあるイベント、挑戦に参加していく。 演舞依頼への積極的な出演を行う。
3	酷暑が続く中で、祖父母世代のお客さんも呼びたいので、会場内でのステージは大変助かりました。今後増えたら嬉しいです。	イオンなど会場を貸してもらっている場所での態度、挨拶など。また当日の昼食としてお弁当などスタッフが購入するなどして、売上に貢献するなど。
4	運営スタッフや裏方さん、踊り子と観客と観客と一緒に楽しめる祭り。	踊り連としてはルールを守り、スタッフの方たちと協力し合う事。観客の人に感動してもらえ踊りを見てもらう事
5	振興会、実行委員会の皆様のおかげで他県の踊り連も参加するようになり大きく有名な祭りになってきたと思いますありがとうございます	踊り連としてできることは マナーや思いやりを常日頃から心がけ、「うらじゃ してる人はいい人なんだ」という印象を持って頂くことが大切だと思います。 そういう印象を、持っていただくとうらじゃ というお祭りに足を運んでくれる人達も、もっともっと増えると思います
6	見てもらうだけのうらじゃではなくみんなが参加して楽しむ祭りが良い	積極的に参加してその場を盛り上げていけるよう連としても意識を高める もっともっと地元でもアピールしたり岡山うらじゃ自体のチラシなども配布出来たら良いかとおもいます またもっと大いにインスタグラムやFBなどのSNSを活用すると拡散できると思う
7	うらじゃだけでなくやはり前日の花火を復帰させもっとたくさん集客が出来たらいいかと思ひます	踊り連が頑張ったとしても実行委員会の中で意識が変わらない限り何も変わらない。
8	10年前のように「誉」を目指すチームが増えること。ここ数年ばったりチーム紹介で「誉」を目指す書いているチームがなくなった。	クラブ内の子どもたち中心の連なので、なかなか他の連の方との交流がありません。同じ子どもの連などと交流できたら、刺激になるかな…と思います。 毎年、総踊りで、他の連の方が輪に来てくださると、子ども達も嬉しそうにしています。
9	つながりあえる祭りになったら良いと思う。	練習中からルールやマナーを守り、一般の方に迷惑をかけないように心がける。
10	うらじゃに参加しない方の理解を得て、さらに活気のある祭りになると良いと思います。	観客が感動できるような演舞をする。 今後も毎年参加して、市民、県民、観光客の方とふれあう
11	もっとうらじゃが広まり、観客が増えるとうい	ルールと秩序を守り、うらじゃ関係者以外の一般の方にもうらじゃを好きになってもらえるよう努めたいです。
12	岡山を盛り上げる	・たくさんの方を笑顔に出来るような演舞が出来よう、連のみんなが楽しんで演舞を披露していくことだと思っています。
13	引き続き岡山の象徴であり続けて欲しいです。	地域の祭りにも積極的に参加し、うらじゃをもっと知ってもらえればと思います。
14	・うらじゃに参加した人、見に来てくれたお客さん、岡山の方みんなが応援して下さるお祭『うらじゃ』となって欲しいです。 ※私の回りの方達は以前は『頑張ってきてね』と応援して送り出してくれていましたが、去年、今年『本当にするの？中止にはならないの？』とこの日程でうらじゃ開催に疑問を持っている方がたくさんいます。	連に所属し参加してみたいと思った人が年齢や職業(休みなど問題で練習に参加しづらい)などを理由に断念することないよう初心者にも参加しやすい連を目指す。また、総踊りでは連で固まらず観客を巻き込み全体で楽しむことを継続する。
15	うらじゃに参加する人口を増やしてもっと岡山を盛り上げていけたらと思います。	これからは個々でうらじゃを盛り上げていきたいと考えております。
16	引き続き踊り子、スタッフ、裏方、観客、たまたま側を通った人でもみんなが楽しい(楽しそう)岡山にはうらじゃがあるなと思えるようなプラスの存在になって欲しい。	常に全く同じ演舞をするのではなく、会場毎に小さな変化を加えていきたい(複数の会場にわたって、踊り連を追いかけてくれる観客の、一つの目当てになれば良い)。
17	1つの枠にとらわれることなく、もっと新しいパフォーマンスを考えて、全国からお客様を呼べるような祭りにしてほしい。県外のパフォーマンスと比べると正直落ちると思います。同じことをするのではなくその先を目指してほしい。	うらじゃが開催できることに感謝し、ボランティアなどの地域貢献を継続する
18	・演舞場ごとの個性がもっと色濃くなったら面白いと思う。MCから演舞場のテーマに沿った質問があったり・・・とか。 ・「好きな踊り連がいる」「好きな会場がある」そんな観客が増えていけば良いと思う。	総踊りの際に、周りに気を配り子供たちを守りながら踊りを楽しむこと。 ・誰でも参加できるように、スタッフやボランティアの増員。演舞内容のコンセプトの変更。
19	花火大会がなくなったので、それに代わる岡山を代表する夏のイベントになるといい	岡山の様々なお祭りに参加することや、県外のお祭りにも積極的に参加して、うらじゃを広めること。
20	このままでいいと思います。	とにかく参加すること 決まりは守ること ルールを守り、毎年参加する。
21	「共生と融和」という理念に立ち返り、誰からも認められ、岡山の誇り(自慢できること)となってほしい。来年度、東京オリンピックとパラリンピックが開催されるが、うらじゃは、健常者と障害者との垣根がなく、楽しめるものになってほしい。	代表者説明会でも様々なお知らせを呼びかけ、注意事項がありますが、それを守っていくべきだと思います。本年度は運動公園の使い方注意事項の連絡がありました。それがそういった事は注意される前に周囲を見て気付くべきではなかったのかと感じております。
22	岡山と言えばうらじゃと誰もが言うものになるといいと思う。総踊りなどを通じて地域住民との交流もはかれるため、岡山伝統のものになればと思う。	知り合いの県外チームさんにもっと声掛けしたいと思ひます。
23	もっともっと全国区で知られると嬉しいです	
24		
25	・チーム単位ではなく、うらじゃ連全体として岡山を盛り上げていければと思います。	
26	岡山だけで盛り上がっている感じが強いので、もっと県外からの参加チームさんが増えていけばいいと思います。	

	こうなると良い	踊り連としてできることは
27	各自が祭りの作り手だということを意識する。 各連が総おどりをもっと重視する。	他連や実行委員会、振興会との関わりを重視し、お互いに協力できる体制を強化する。 自分の連の踊りだけでなく、原曲や音頭の練習もしっかり行う。正しい振りを知る。
28		岡山を盛り上げるため、出来ることを踊り連で共同する。
29	うらじゃがあるから、うらじゃが見たいから そう言った理由で一般の人が来てくれる 県外からも足を運んでくださる人が増えていけば いいと思います。	観客を巻き込んで楽しめる、そんな演舞を作りたいです。
30		
31	踊り連が増えて県外からより多くの人が見に来る。	
32	毎年ではなくても、有名人のゲスト出演を実現するなど、メリハリをつけながら、 永く開催し続けること。	うらじゃに参加し続けること。
33	・参加踊り連が300連を越える。	・うらじゃの魅力を県内外に演舞で発信！
34	・もっと県外のチームが出られる、開放的なお祭りになって欲しい ・岡山市内でも認知度をあげたい	地元、県外のお祭りでうらじゃをもっと広めていく
35	このままいろいろな人が参加できるようなものであるとよい。	子どもでも楽しんで踊れるという事を見せよう。
36	・日本を代表するお祭りの一つとして観光客を呼べるほど影響力のあるお祭りになれば、岡山へのインパウンドも期待でき、岡山にとってとても重要なお祭りになる。	・本祭では、実際外国の方がとても興味を持ってくださり、写真を撮る、総踊りを一緒に踊るなど、コミュニケーションを図れた。 今後も踊り連として外国の方へ、“楽しい”と思って、頂けるよう本祭を盛り上げる事がそれに繋がると考える。
37	日本を代表するお祭りになれば嬉しいです。	FBやInstagramを利用したPRをして、もっと周知してもらおう事。
38	事前エントリーの締切を延ばして欲しい。事前エントリーのシステムをわかりやすくしてほしい。すべての連の名前をパンフレットに入れて欲しい。去年はあったのに今年はなかった。	参加する。
39	どうしても夏の暑い時期に行くと、踊るため参加者は、若年層が多いように感じる。もっと年代広く参加しやすいような工夫は必要ではないかと感じる	企業連ですが、企業市民として参加し続けること
40	もっと多様な連が出てくればよいと思います。	他の連がしないようなことを工夫します。
41	このまま続けられると良いと思う。岡山市の唯一の祭りを盛り上げることは大事であると考えている。	地域貢献活動を引き続き行う。
42	・見てくださるお客さんの熱中症対策をしてほしい（今年テント設営などありました が継続して欲しい） ・県外へのアピールがもっとして知名度を上げていくとよい。（うらじゃ音頭はよく知られているけど裏じゃ自体知らない人が多い）	・知名度を上げるため地域のお祭りなどに積極的に参加する。（当連は本祭前2件、本祭後3件すでに地域のお祭り同に参加しています。）
43	踊る見物客さんが増える	うらじゃ音頭で見物客さんを誘い込む
44	踊り子だけでなく、スタッフもお客さんも一緒に盛り上げられるお祭りになるとよい。	総踊りにお客さんを積極的に誘う。 踊って楽しむだけでなく、ルールを守ったり、人との関わりを大切にしたりと、皆で楽しめるよう一人ひとりが心掛ける。
45	県内のみならず県外、海外の人にも知ってもらえるような祭りになればいいと思う	県内外への祭りの参加や動画をSNSにあげて少しずつ広めていく
46	岡山の街全体をあげて盛大な祭りとなればいい	魅力的な祭りだと思っていただけるように 精一杯楽しみ、見に来て下さる方が笑顔で帰っていただけるようにする。
47	県外チームを増やすことで、岡山県外にもうらじゃの良さを発信していく。	地域とのつながりを大切に、うらじゃと地域のより良い関係の架け橋となり続ける。

《質問5》:「うらじゃ」を盛り上げるためには、踊り連の間での交流も大切にして欲しいと考えますが、今年度の「うらじゃ」で、新たに交流が始まった連はありますか。あった場合には、どういうきっかけですか。

有:	19
無:	29

新たな交流	そのきっかけ
有り。	清掃活動で話をしたり、うらじゃ本祭の待ち時間に話をしたりしました。
少ないですが有りました。	SNSを通じて交流を行い、本祭で担当者と話をしたり、共同での演舞依頼を行うなど。今後も演舞依頼があれば誘いたい。
うらじゃ当日にチーム間ではありませんが、演舞場のスタッフの方や、お昼の総踊りで一緒に踊ったチームで個人間で仲良くなれたり、挨拶出来たり、衣装や踊りの感想を言い合ったりはありました。	演舞場をたくさん回ったこと。下田町公園の昼の総踊りに参加したこと。
他の踊り連の方と話す機会がありました	大道具(大旗)のオリエンテーション、会議やガーデンナイトのリハーサルの時など他の連の方と交流がありました。
無 個々の交流はありませんが、本祭当日ハイタッチやあいさつは連として実施	
ある	・演舞を見に行き感動し、その気持ちを伝え交流が始まりました。また、知人がいる連との交流。
大きな交流はないが、お互いを意識しての挨拶や軽く話したり一緒に写真を撮ったりいう交流はあった。	定期的にある清掃活動や、複数連が参加する演舞への参加や、本祭当日の待機場所などでの声掛けでお互いを認識でき、話すきっかけができた。
色々なチームの方と仲良くさせてもらっています	・元メンバーがいる ・スポット参加でお世話になったり、イベントに招待してもらったり
有り。	イベントで一緒に撮った時に写真を一緒に撮ったり うらじゃ音頭を踊ったりして連絡先を交換させて頂きました。 衣装屋さんを紹介させて頂いたりして交流が始まりました。
ありました。	今年新たに結成された連に知り合いがいて、雨の日に練習場所に困っていた時に、その連が使用していた場所の一部を貸してくれたことがきっかけです。
有り。	練習場所(運動公園の芝生広場)の共有
・ありました。	・清掃活動 ・代表者グループライン
有	Twitter
ありました。	去年、県外のお祭りで一緒に他連の人と踊ったりしたため
・ガーデンナイトにて、給水補助をした際、お互いに声を掛けあって、交流が生まれた。(Shinさん)	・ハイタッチプロジェクトが実行されていた中での、給水だったので、踊り終わった連に踊り子やマネージャー全員でハイタッチをするなどし、違う連の方と称えあったことがきっかけ。 この交流があったことで、その後の演舞へのモチベーションに繋がった。
有り	総踊り
接点はありました	ステージ合間(総踊りではなく)に、うらじゃ音頭を他の連さんと一緒に踊った時
あった。	代表が他の踊り連にスポットとして参加したり、練習場所が一緒だったため。
有	総踊りを通して、様々な連の方々と交流することができました。

《質問6》本年度の「うらじゃ」の事前準備や本祭当日についての感想を以下の項目ごとに聞かせてください。また、次年度は参加されますか。

会場	①良かった点	②気になった点	③より良くするための改善策	④踊り連としてできる事
全体	・どの会場もハイタッチで踊り連を迎えてくださったところ。 ・子供演奏場で、今年も温かいメッセージやバッジ、賞状を頂き、大変嬉しかった。 ・パレードの注意事項を分かりやすくスケッチブックに書いてくださったところ。 ・温羅化粧ブースに募金箱を設置してくださったところ。 ・今年の温羅化粧でフルゾンちえみさんやSTU48のメンバーが描いたシールがあり、かなり盛り上がりだしていると思います。スゴイ！！	・会場によっては、給水や踊り連側がやる会場と、裏方スタッフの方々がしてくださった会場とがまちまちだった。 ・彩鬼(特に備前焼メダルなど)が一人一つずつ重複しないように、かけて欲しい。 ・活動を止めてしまう踊り連があること…仕方ない部分もあると思いますが…残念。	・できる会場でもセルフ給水にすればいいと思います。 ・彩鬼をかけてくださる裏方の方に一人一つ、ということを徹底。	・イベントなどでうらじゃの良さを子供連に伝えること。 ・SNSなどの発信。 ・メンバーにうらじゃを存分に楽しんでもらえるような取組を考えると、うらじゃの歴史を伝えたり、挨拶やマナー、当日のルールをメンバー全員に徹底していただくこと。
	・演舞場はスタッフさんも暑いなか笑顔で必死の対応をしてくださった。音出しのタイミングもばっちりだった。毎回演舞場が始まる前にも丁寧な打ち合わせで安心して踊る事ができた。	パレードについては、音出しのタイミングが難しく感じた。表町ではスタッフから「最初の隊列になつてよ」と上から指示があったり、個々の人柄や随分と印象が変わるなと思った。	踊りチームとしても、余裕をもった移動や対応、しっかりとあいさつし、疲れてイライラしているスタッフさんにも気持ちよく過ごしていただけるように気をつけたいを実践することが大切だと再認識した。	代表者会議での内容のチーム内の周知。演舞場やパレード会場の下見。余裕をもったタイムスケジュールの作成と実行。運営スタッフさんや交通整理、警察関係者への感謝気づかい。お客様への笑顔の挨拶と演奏。他チームへの激励、応援。マスコミ各社へのきちんとした対応。周辺地域の方への配慮、列横隊。当年のテーマに沿った演奏作り。
	どの会場も裏方さんが元氣よく、楽しく踊ることができました。	今回、初の事前エントリーでの演舞会場があり演舞スケジュールを組みやすかったです。ですが当日エントリーのみの会場をスケジュールに組み込みにくかった。	色々な事情があり、難しいとは思いますが、全会場を事前エントリーにしたいのではないかと、思いました。	各会場、観てくださる皆様方に感謝をこめて、精一杯演舞いたします。
	裏方さん達が積極的に水分補給などを進めて下さり助かりました	うらじゃ食堂をもっと増やしてもらえたらと思う 演舞場から演舞場の間の大通りには専属の裏方さんや警備員などを置いてほしい	市役所筋を3本、そのうち1本を審査に戻すこと	実行委員会に期待して待ちます。
		①楽曲の審査基準が不明瞭。 どこがわかりにくいのか、説明のほうを分かりやすくしてほしい。 ②チーム、踊り子の登録数の減少傾向。うらじゃに対する熱量が減っているように感じる。	たかがメダルと思っているかもしれませんが。。。子ども連にとってはキラキラ輝く宝石です！もらった人ももらえなかった人も納得出来る基準で全てのボランティアさんにも徹底していただけたらとありがたいです。	チーム内でも一人一人の体調だけでなく心の中まで気にかけてフォローしていきたいと思っています。
		パレード以外の各演舞場の待機場所の事前アナウンスが無い。	本番当日の会場につくまで、つまり踊る直前まで、どこで待機すればよいか不明であるため、集団の移動に支障をきたす点。 →表町パレード・市役所筋パレードと同様に、第二回代表者説明会資料で事前アナウンスすれば改善できる。	
		毎年、見学者を含め熱中症対策を呼びかけるのであれば今後検討すべし	祭りの開催時期や時間を変えるべき(去年も同じことを提案しましたがそれについての回答なし)	祭りの基本は見ている人も踊っている人も無条件に楽しむことなのでその努力をおしまない
		お忙しいことは承知ですが、事前エントリーの入力の日にちが急遽変更になったのは困りました。	入力の場所や集合場所を決めていたので。	
	今年は事前エントリー制だったのでスタッフが楽。各演舞場のスタッフの方の対応はすごく良かった。	いつ、どこで、何を審査されているのかわかりません。賞に入られた連では何が良く選ばれたのか、わかりません。審査員の方は総評を、各演舞場賞は審査基準がはっきりしているし、演舞を見て選ばれているので納得できます。音・匠の賞は不明瞭です。なくとも良いのではと思います。		見に来て頂いているお客さまに楽しんでいただくための演舞を目指して毎年練習しています。
	事前エントリー制。多少スケジュールが組みやすくなった。	・事前エントリーが思ったより取れなかった。 ・暑さが厳しい。	フリーエントリー場をもう1か所(土曜日)位は増やして欲しい。 暑さも開催時期の変更は難しいと思うので現状のまま、注意喚起や冷風扇？設置などで対応するしかない。	事前エントリー。受付開始時間にPCへかぶりつくこと。
	事前エントリーが増えたのでスケジュールが組みやすかった。事前と当日の組み合わせはこれくらいちょうど良いと思う。			振りの完成度等も大事ですが、開催時期のこともあるので全員の体調を万全に2日間保たせることが今後必要だと考えています。
	演舞場の事前エントリーがとてよ良かったです。スタッフの場所確保の負担が激減したので助かりました。			遠慮なく意見を交換し合うことだと思います。
	事前エントリーは良かったと思います。理由は本祭当日のスケジュールを考えて、事前にエントリー出来たからです。			
		事前エントリーのできる会場と出来ない会場(野田屋など)があったが、できない会場は実際に行かないと状況が分からなかったと思うので、行ってみたら埋まっていたということもあり、確認に行くまでの時間が行動を決める上でのタイムロスにも繋がっているので、状況だけでも確認できるツールが欲しい。もしくは事前エントリー対象にしてほしい。	演舞場によって、待機場から演舞への誘導がないこともあった。(日曜日の東口/たまましかもしれないが、GOサインがあると助かる。	待機場所での待ち時間や移動時に通行の妨げや周辺の店舗の迷惑にならないように配慮して行動する。また積極的にゴミ拾いをして町の美化に努める。
	事前エントリーによる無理のないパフォーマンスができ、MCもパフォーマンスのテンションを上げてくれていたと思います。	演舞場に偏りがあり、お客様が少ない演舞場があった。	人の導線によるものだと思いますが…しかし人は大勢集まる場所によって来るものです。さくらではないですが、事前に人の呼び込みをし気になる場所を作るべきだと思います。	踊り連としてももっと人々を集める動きをするべきかと思えます。
	各事前エントリー。予定が組みやすく、体調管理の面でもとても助かった。 全般：お酒を飲みながら運営している(机にお酒が置いてある)会場が減った。	全般：踊りの前にMCとの掛け合いがあるのか、後にあるのかの案内が無く、戸惑うことが例年よりも多かった。(例年はそういった案内があったと思う)	・会場毎に、MCがどのように回そうとしているのか、マイクの本数、スタンドの要否を確認してほしい。 ・マイクの本数、スタンドの要否は、登録時に備考欄などで申告しておく形でも良いと思う。	・熱中症への対策や、会場間の移動も含めた演舞計画をどのようにしているのか、踊り連同士で共有し、改善しあれば、演舞場の空き枠を減らしつつ、体調不良者も減らしていけると思う。
	事前エントリーの演舞場が増えたので、予定が立てやすくなった			
	事前エントリーが始まったことが良かった。 事前に演舞場の時間が決まることで当日の動きのプランがたてやすくなった。	8月の頭の土日という日程を改めて検討すべきだ。 理由は、年々夏の気温が上がっており、観覧車も踊り子スタッフも熱中症になる危険性が高いから。		地域の小学校や中学校でのうらじゃ指導を行っているが、今後も続けていきます。
		・事前エントリー制のおかげで、スケジュール管理が容易になった反面、フリーエントリーの演舞場の空きが多くあり、うらじゃで岡山の街を元気にするという点において、新たな対策が必要であると感じた。	(改善策)エントリー制の拡充。(主催者による演舞依頼。連の希望は大切だが、主催者が全体の賑わいを考慮して、一部に演舞場と時間の指定を行う。他県の祭りを参考に、演舞場の空きだけは避けていく方向で検討を)	ルールを守り、メンバー全員が安全に楽しく参加できるように、今年度のうらじゃを振り返り、改善していく。
	事前エントリーの会場が増えたことが良かった。理由は事前にスケジュールが組みやすくなり、踊り子に無理をさせることなく、たくさん会場で踊ることができたため。	温羅化粧をしていただく観客の方にハイタッチしようとする不審者かのように驚かれた。 踊り連同士のハイタッチも少なかった気がした。	観客に温羅化粧をする際に、踊り子がハイタッチしてくることをかならず伝えてほしい。同じ踊り子であっても見知らぬ人にハイタッチするのは勇気がいることなので。	勇気を出して自分たちからハイタッチしに行けるよう、そういったことが得意なメンバーに率先してハイタッチしてもらうようお願いしてお。
	・フリーエントリーの会場が減ったこと。 ・事前エントリーのシステムが、実質早いもの勝ちになってしまっていること。複数台のスマホでログインして、数の勝負でとった踊り連が多かったようです。	・今年事前エントリーだった会場を、フリーエントリーに戻す。	・大道具など、新しく始まったこと(復活したこと)のルールを徹底して守る。	
・確定演舞が多かったので、スタッフさんとの別行動があまりなく、一緒に多くの時間を過ごせた				
演舞場のネット予約が本当に良かった。 抽選のときは、スケジュールが立てにくかった。	演舞場のネットエントリーがあつという間にはいいになり、予約が出来なかった。 予約できた時間で移動や準備をしたが、時間がギリギリだった。		予約する際は、出来るだけ時間にゆとりを持ってエントリーする事が必要だと思いました。	

会場	①良かった点	②気になった点	③より良くするための改善策	④踊り連としてできる事
		基本的なことがわかっていないスタッフが多かったです。また、フリーエントリーの場合、昨年は踊る時間を選べたのに、すぐ踊らなければならないと言われ困った(駅前商店街、ルネス)。野田屋町はそこを配慮してくれて助かった。事前エントリーができず、フリーエントリーになったチームにいかにか配慮するかが今後の課題では？ 本当に大変だったの。		
	エントリーが事前エントリー制で尚且つWEBで行うことになったため、スケジュールが組みやすく、効率よく演舞場と休憩を入れることができたため、無駄な時間がなくよかった。	休憩場所がないためか、道端で休んでいる連や踊り子の人を多く見受けた。やはりその点は気になる	演舞場付近に待機場所だけでなく、休憩が可能な場所を別途設けることで、秩序ある行動が保てるのではないかと思われる。	見ている方に気持ち良い態度や行動を継続していく
	事前に演舞場の申込ができたので、当日バタバタせずに済んだ。			ルールに則って踊り、うらじゃを盛り上げます。
	・事前のエントリーできたのはよかったと思います。当日エントリーが多い場合は踊り子を含めた複数人でエントリーしに走るということがよくありました。熱中症の観点、チームマネージャーが少ない連からしても事前にエントリーできる点はメリットが大きいと思います。	・彩り鬼を複数回もらう人が多々いまして彩り鬼を選定するメンバーの教育が行き届いていない。モチベーションにつながるので多くの人がもらえるように配慮して頂きたい。 ・給水の対応が演舞場ごとにまちまちで対応に困った。準備はチームマネージャーがすることになっていたが演舞場ではペットボトルの水がなくなっても新しいのを出してくれなかったりとどこまでがチームの範囲でどこまでが要方さんの範囲かをはっきりさせて欲しい。		
		フリーエントリーの所で、受付時間よりも前に行って、予約みたいな形をとるのはどうかと思った。人数が少ない連では朝の6時頃から並ぶことができないので受付時間前ぎりぎりしか行けない。	受付の1時間前からしかならべないなどの決まりを作って欲しい。	ハイタッチプロジェクトなどでは観客の方とふれ合ったり「うらじゃ」を通して人々を元気にできるようにしたい。
	各演舞場にも踊り子を気遣った対策をしてくれてとてもありがたかった。			
		総踊りの時、一般の方が入って来られたのですが、和になった子ども達を返すように見て輪に入って踊られたのですが気味が悪かった。子ども達に何かあってはと目を離さずいたのですが、ボランティアスタッフ(?)の方がずっと付いて下さりちょっと安心しました。		
	給水の十分な確保やミストなど、どこも熱中症対策がされていて良かったです。	・会場によってスタッフさんの対応が違うように感じました ・笑顔が迎えてくださっていると嬉しかったです ・受付がわかりにくい演舞場がありました		
	総踊りのMCを一般募集した点が良かった。	開催時期を変更して欲しい。 ※ 花火がないなら尚更 一番暑い時期に踊る必要はないと思う。		
	受賞発表表、参加者全員を座らせた点。理由は、座ることで落ち着き、受賞連の過度な盛り上げを抑制できたため。			
下田町	・下田町中央公園の会場は、棟敷席でお客さんから見やすかった。土が舞わないように水をかけてくださいました。			
	舞台がなくなり砂地、水も撒いて下さっていたので、広々と使えた。観客席にテントがあったのもよかった。	砂地の為、衣装や足袋が汚れたのが難点。		
		ステージがなくなったのが少し寂しかったです		
	下田町公園で大型ビジョンができたこと。			
	・ステージがなかったため、お客さんとの距離が縮まった感じがした ・棟敷席 非常に広く、お客様が上の位置から見ることができるのは隊列移動でパフォーマンスを取り入れている連にとっても、非常に見やすい工夫となっていると感じた。			
	・下田町公園演舞場のお客様の方が少し上から見ると言う舞台設定はよかったと思います。			
		演舞前に大道具の確認があることは聞かされていなかった(確認不足かもしれない)ため、急遽の対応になってしまったこと。大道具が出せること自体が特別な対応をしてくださっているの、事前に細かく確認していればよかったと感じました。		
イオン	イオンハレマチのおかげで、最も心配していた体調管理と食事など、今年も演舞の前後のスケジュールの管理がやりやすかった。			
	イオンモール未来スクエア:3連目に踊ることができて待ち時間も少なく、涼しい場所であったため、子どもの集中力が切れることもなく、待ちやすくてよかった。前に踊る連の踊りを見ることができて楽しんで待つことができた。			時間をよく見て会場に入り、一般のお客さんの迷惑にならないようにする。
	・ハレマチ演舞場:座席と吹き抜けの2か所から、より多くの方が観覧できる事が良かった。			
			演舞場があるイオンとして施設側の意見では食事以外の利用はやはり少し控えて頂きたいと思う	
	イオンモール未来スクエア演舞場は、涼しいので、体力の消耗が少なくてよかった。		・ハレマチイオンスクエア演舞場でもらった彩り鬼は「こども」と表記があったが正式演舞場名ではないのでどこかわからなかった。	
さんた	遅くまでしているため、市役所パレードが終わった後に参加できる数少ない演舞場。影もあり、お客さんが階段で見られる、コロッセウムみたいで好きな演舞場です。演舞責任者の方も笑顔ウエルカムで素敵。			
表町	東西、南北で4つのパレードルートで土日踊れたのは良かった。	4ルートについての周知が一般のお客さんにはなかなか伝わってなかった。商店街は年配のお客さんも多いのでネットなどでの告知も難しく、当日の周知になると思うが、観覧場所など明示できたらと思った。		
	踊り子から表町の総おどりが楽しかった。アットホームな雰囲気うらじゃらしくていい。			
	表町パレードで2回目を踊る時、信号をはさみ移動できることが多少の休憩ができるので楽です。			
	表町パレード	①待機場所が狭いのできめられた場所より早く集合しないように説明を受けていたが、実際早く進行していたようで、集合遅く会場担当者迷惑をかけた。 ②南北パレード(天満屋前終了)の受付場所がわかりにくかった。	①途中での時間調整をしてほしい ②集合場所から少し離れて目立つようにしてほしい(東西パレードの受付はわかりやすかった)	決まりは守るが、いろいろな事態を想定して行動する。
	表町パレードの場所が三か所になったことで商店街全体が賑やかになったように見えた。また、2曲(2回)になったことで熱中症や体調不良の回避・軽減に繋がったと思う。			
	表町パレード:演舞回数が2回になったことがよかった。理由は2回連続の演舞までなら熱中症のリスクがかなり下がるため。 3曲→2曲への変更。理由は、3曲では体力が持たず熱中症の原因となっていたため。 ・表町パレードの東西のスタート位置が西寄りになったこと			
	・二日目の南北表町二丁目パレードで、定点で踊ることになった			
・お客様が多いが、より近くで表情や熱を感じて頂ける会場であることが良かった。	・直射日光がなくても、熱がこもる会場であるため、お客様の熱中症が心配であった。人口密度も非常に高いため、気がかりであった。	・可能であればお客様向けのミストが出るファンのようなものが設置できる場所があればいいと感じた。	・お客様にも水分補給を促すよう、煽りからマイクでお伝えする予定です。	

会場	①良かった点	②気になった点	③より良くするための改善策	④踊り連としてできる事
	表町筋は初参加で当連所属の職場が近いために参加しやすかった。地域の方々や職場の職員に応援していただいたので、はりきって踊ることができた。 踊る時間帯に日が落ちていたので踊りやすかった。	表町筋南北 市役所筋北向き ・初参加であり、地方車のスタートのタイミングとスピードが分からなかった。 ・連の頭と地方車が離れてしまった。 ・煽りの声が連の後ろまで聞こえなかったため、最初のタイミング等がそろわなかった。	・この経験を基に次年度は、準備段階でもっとタイミングを揃えたい。	近隣の職場の他の連と連携を取ること も考慮したい。 (他の連がどのような準備や活動をしているのかを知りたい)
下石井	直前待機場所に、熱中症予防対策のミストシャワーがあったのがとても助かった。 土曜日の下石井公園ガーデンナイトの国旗共演、迫力があって良かった。 ・下石井の日除けのテント 下石井公園のナイト演舞 暗さと証明でとてもいい雰囲気の中踊れました。 演舞終了後の花道がよかった 一体感があり楽しめた 演舞終わりのMCIによる盛り上げや、ハイタッチが良かったです。演舞終わりのMCIによる盛り上げや、ハイタッチが良かったです。演舞終わりのMCIによる盛り上げや、ハイタッチが良かったです。	下石井公園の踊り連側(汽車側)に日影テントや休憩場所がない 土曜日の下石井公園ガーデンナイトにて、司会者と連代表者との会話が身内の話しになっている。		
市役所筋	1番だったので、踊ったあと子ども達が混乱せず、給水、onピジョンのインタビューを受けることができた。 市役所筋パレードのフラフ復活。	15分前に受付に行ったが、準備ができておらず、待機テントにも入れず、歩道からいきなりスタンバイになってしまった。 メダルのスタッフもおらず、スタッフの方からかけてもらえなかったため、子ども達も見に来ていた保護者も残念がっていた。(後から連絡が来てメダルは受け取っています)	スタッフの方が少ないのか…と感じました。ボランティアスタッフなどがもっと増えたら、少しはスタッフ一人の負担が少なくなるのではと思う。	保護者や職員が誘導など、安全確保に努める。今年も熱中症対策の準備や注意喚起は行いました。
ルネス	演舞後に体調不良になった踊り子でしたが、ボランティアスタッフの方の対応がよく、踊り子がしっかり休むことが出来ました。	自分たちの演舞の前に、ミニ総踊りが入り、その直後に休憩無しで自分たちの演舞になった為、1~2分休憩が欲しかったです。		
東口噴水前	例年、日曜日に出る背面側の壁が無く、踊りやすかった。後ろの観客にも楽しんでもらえたと思う。 観覧スペースにテントが張られたことにより、観客の数が安定していた。 見物客さんとの距離が近く、多くの方に観ていただけ、良かった。	待機場所に入る際連の名前を言う誘導して下さるのですが、ここだけは『次の連の方』としか言われなかった。連名は全く把握していないよう。自分の担当の演舞場のエントリーしている連のスケジュール(順番)くらいは持って、誘導してほしかった。 昨年と作りが少し違った。 観客と踊り子との距離が近く少し危ないかなと思った。 見物客さんが背中側にも多く、お尻を向けたまま踊った事。	位置取りを少しずらす。	駅前噴水前: 踊り手が後列は後ろ側を向いて踊る!?
野田屋町	彩兔の札に、メッセージが書かれていた。とても嬉しかった。 ・野田屋町公園でフラフが振れたこと 野田屋町演舞場の雰囲気、ゆったりとしていて、良かったです。	日曜日に野田屋町公園で屋過ぎに踊ったが、観客が全く居なかった。 踊り連も居なかったため誰も居ない場所での踊ることになった。	人通りの少ない会場は事前エントリーにした方がいいかも。	
両備HD	観客のテントと、スピーカーの位置関係がずれていて、どこに隊列を組むべきか迷った。 ・両備の日陰がないこと。			

次年度の参加

参加 : 41
不参加 :
未定 : 6

《質問7》事務局からの情報発信について気になった点があれば ご記入ください。

気になった点	その理由
特にありませんが、事務局のメールアドレスを統一して欲しい。	2通のメアドを送らないといけないから。
同じメールが2回届く	
楽曲審査の最終回答についてこちらからメールで問い合わせしているが、まだ回答が返ってきていない。	うやむやにしたかったんでしょうか？
代表・副代表など届くメールと届かないメールの差があり話が繋がらなかった事が多々あった	副代表その他メンバーの方にいち早く情報を届けたいのだが、代表にしか届いていない連絡事項などがあり困った
・開催日が決まったら、もう少し早く日程を発表して欲しい。	・参加者を募集する際、日程が決まっていた方がスムーズに募集が出来ます!!
資料の誤記が例年より少し多くなっていたように感じました。それだけ変革に取り組まれたのだらうと勝手に思っています。 エントリーサイトの開設を早めて、説明会の参加などのアンケートをエントリーサイト上で選択し、回答した方が、集計するのに便利だったりしないのでしょうか。 このアンケートも含めて、エントリーサイトをもっと有効に使えれば、良いのではないのでしょうか。	
メールが届かない事例が発生していたため、重要なメールのやり取りに不安があった。	宛先に振興会も含む対応で解決されましたが、同様のことがもし振興会アドレスでも発生する可能性を考えると、少し気になった。
メールの不着などの状況は改善してほしい	何度も再送するのは、お互い時間ももったいないため
このアンケート	質問6が消えている(チェック体制がない?)
トラブルでギリギリの発信が多く、締切に時間がない。何か締切を設ける際は最低でも1週間は余裕をみて欲しい。 楽曲の審査結果は修正が必要な場合クリエイターさんに依頼する必要があるのでOKかどうか連絡をいただきたい。または〇〇月〇〇日までに修正の連絡がない場合はOKとするなど決めてほしい。	
参加の可否やアンケートの記入を別サイトで入力できるようにしていただけると幸いです。	うらじゃ期間前は慌ただしく、忘れが発生しやすい為タイムリーにできるようになると助かる。
のぼりをつける棒が当日までどこで頂けるのか分からなかった チームごとのタイムテーブルが見つらい、自分が探した演舞数で全てなのか分かりづらい	のぼりの布だけ頂いてそれをどうしたらいいか分からなかったため。 パレード会場や演舞場ごとに書かれているため、チームごとのタイムテーブルが分かりづらいため。

《質問8》審査について、ご回答ください。

問1:あなたの踊り連は賞を目指していますか？	連数
① 誉・匠をはっきりと目標に、受賞を目指して練習している。	11
② 誉・匠は遠い目標で、演舞場賞などを目指して練習している。	8
③ 祭りを楽しむことが目的なので、特に賞を取ることは目指していない。	27
選択せず	3

問2:現在の審査は、全踊り連を対象としていますが、それについてどう思いますか。	連数
① 全踊り連を対象に受賞連を決める現在のやり方がよいと思う。	27
② 大人の連、親子連、子ども連などのカテゴリーに分けて、それぞれを対象にした賞を出す方が、励みになってよい。	18
③ 自分たちの連にとっては、全体の賞は必要ないので、審査して欲しい連を対象にエントリー方式の審査をしたらよい。	1
選択せず	2

問3:現在の審査は、特定の会場で行うのではなく、祭り全体を通して審査しています。それについて、どう思いますか？	連数
① 祭り全体を通して審査する現在の方式でよい。	28
② 審査の過程がよく分からないので、審査会場を決めて明快に審査する方がよい。	18
③ いつも審査されていると思うとお祭りを楽しめないなので、審査の会場や時間を絞って行ってほしい。	1
選択せず	1

第26回うらじゃ実行委員会反省シート

No.	部会	会場	記入者	問題点(簡潔に)	発生理由(簡潔に)	改善策(簡潔に)
1	パレード	A会場受付		大道具が外灯にぶつかっていた	受付や待機時に会場に低い設置物の告知を行ったが、旗振り担当者まで伝わっていなかった。	事前現調で良く確認をし、第2回代表者説明会にて、資料等も配布し注意を促すのと、担当者を決め、大旗組み立て時に再度アナウンスを行う。
2	パレード	A会場受付		A会場、B会場の受付場所を間違えている連がいくつかあった	踊り連側の確認不足、案内がわかりづらい	代表者会議等の周知徹底、分かりやすい案内
3	パレード	A会場受付		一番目の踊り連の到着がギリギリとなり、バタバタした。	受付に踊り連スタッフが10分前くらいに到着し、ギリギリになりそうだという事実が判明したから。	一番目の踊り連には、30分前に連絡し、状況を確認しギリギリとか遅れそうな場合の対応策をマニュアルに落とし込みする。
4	パレード	A会場待機誘導		テントで待機している連に移動してもらう時のタイミング	待機テントからスタート地点までの距離が少し遠い。また夕方に近づくとも地方のライトで地方誘導の人の合図がわかりにくい	待機テントの置き場変更
5	パレード	A会場待機誘導		一般のお客様の歩行を妨げてしまう。	待機テント横の歩道を応援に訪れたお客様が防いでしまったため。	待機テント近くに看板、張り紙等を設置し、歩道を妨げないように注意喚起。事前に会議にて踊り連へお願い、連全体に伝達してもらう。
6	パレード	B会場給水		給水場所が分かりにくい	給水場所に表示がないため	給水場所に、【給水所】と分かりやすく看板を設置する
7	パレード	B会場受付		受付の場所が分かりにくい	ふんどし等の受付表示がなかったため	事前準備
8	パレード	B会場待機誘導		屋台設営トラックとパレードスタート連	屋台設営トラックの退去時間とパレードスタート時間が同じ	トラック退去時間をパレードスタートの10分程度前にするか、退去コースを変更する
9	パレード	B会場TKスタート係		観客が横断しようと、スタートライン前まで来て気づき、退場してもらった。	誰も気づかないかったか、誰か注意するだろう、になっていた。	裏方、プロ警備の、一般の方の会場内侵入に注意意識を上げる。
10	パレード	A会場給水所		給水後の踊り連の動線がはっきりと誘導できずに交差点の歩行者との混雑があった。	給水後にどのように抜けてもらうかアナウンスを徹底できていなかった。	会場責任者と担当で細かく打ち合せたうえで対応する。
11	パレード	A会場給水所		給水所周りに踊り子が溜まり、他の連や救急搬送の邪魔になった	まつり会場から離れる向きの動線だったため。市役所筋演舞場の踊り子も流れてきたため	給水所位置の再考。声掛けの徹底
12	パレード	A会場給水所		給水のおかわりの時、新しいコップを使う人が多かった	紙コップは一人一個を認識していない踊り子がいたため	ルールを書いた紙を提示。踊り子の人数に合わせて給水準備

第26回うらじゃ実行委員会反省シート

No.	部会	会場	記入者	問題点(簡潔に)	発生理由(簡潔に)	改善策(簡潔に)
13	表町	下之町天満屋通路		踊り連の関係者がお店の入り口をふさいでしまう	連のチームマネージャー等が注意しない	説明会や受付時に店の入り口をふさがないように注意説明が必要
14	表町	南北受付		USBの確認ができない連が多い	受付確認時に持っていない。	何個か準備していれば良いか。
15	表町	南北受付		受付に一時間前に来られ30前にと断ったら他の演舞場は対応したと凄まれた。	他の演舞場の受付もしないと間に合わないから。	ルールの徹底。
16	表町	南北受付		何連か登録証を持参しない連が。	別の担当が持っている？	ルールの徹底。
17	表町	南北待機誘導		横断歩道を渡るときゆっくり行く連があるので一回の信号では渡れない。	踊り疲れている様子	途切れないようにダッシュをお願いしました。
18	表町	待機誘導		マナーを守る連と雑に振る舞う連が見受けられた。もう少しマナーを守ってほしい。	待機場所や移動中で枠からはみ出したり、かなり早い到着。	会場の幅は決して広くないので枠を狭くして観客や歩行者が安心できるようにするとか、チームマネージャーに移動中、到着してのマナーの徹底。
19	表町	待機誘導		チームマネージャーや代表にフリップを使って役割分担や注意事項を説明してもキチンと対応できていない連があった。	美踊獅(チームマネージャーのポジションが出来ていない朝日塾(毎年隊列にあわせてのビデオ撮影)他の連もあり	ルールの守れない連には踊らせない。音を止める。正直ナメられている。
20	表町	南北給水		給水が終わってからの移動で天満屋バスセンターからロツツビル二階通路のお店の前に連が休憩していた。	お昼飯前なのか踊り終えた連が二階店舗入口を結構な時間塞いでいた。天満屋さんからのクレームがあり向かうと移動したあとでした。	踊り連はお店の前を塞いだりしないように通達
21	表町	南北待機誘導		注意事項を説明しているのにキチンと聞いてくれない。	毎年恒例だからなのか？ルール違反の連がいますよね!!	チームマネージャー、代表などが注意事項の説明を聞いたか確認サインでももらいますか？
22	表町	南北待機誘導		待機場所に到着した連は注意散漫でチームマネージャーに注意事項の説明をしても聞いていないのでは？	待機場所に緊張感が無い。	
23	表町	東西給水		連の人が給水所のまわりでたむろしていて、通行人の邪魔になっていた。	給水後は速やかに撤退することが周知徹底されていない。 給水所の担当が給水後の、はけ誘導もしなければならないことが共通認識になっていなかった。	給水所の担当者に連の掃け誘導も兼ねていることを共通認識化する。

第26回うらじゃ実行委員会反省シート

No.	部会	会場	記入者	問題点(簡潔に)	発生理由(簡潔に)	改善策(簡潔に)
24	演舞	下石井公園		【キャンセル待ち】 大型連が、大ステージの下石井公園演舞場で演舞できない	日曜日の演舞が、希望連多数の為キャンセル待ちが発生する。そのため、大型連のキャンセル待ちが発生した。	日曜日のみ、最小踊り子人数を現在の10名から20名程度に増やす。
25	演舞	下石井公園		【出石コミュニティハウス】 踊り連、観客の方がトイレを利用され、トイレ内が汚れる。	トイレを利用される方のマナーが悪く、紙の散乱や、飲食物ゴミの放置等が目立った。	張り紙を玄関に掲示し、入館を不可にする。
26	演舞	下石井公園		【給水】 一部の連については、給水がスムーズに行えなかった。	① 給水を担当するマネージャーが決められていなかった。 ② 踊り子の人数が多い連では、コップを配るマネージャーの手が間に合っていなかった。	① 各連に対して、給水を担当するマネージャーを決めておくようアナウンスを徹底する。 ② トレイを数個用意したところ、スムーズにコップを配ることができるようになった。
27	演舞	下石井公園		【受付】 ① 受付のリスト上は大道具ありとなっているにもかかわらず、大道具がない連があった。 ② 演舞の予定時間に現れない連があった。	各連が、リストの内容を十分に確認していない。	各連に対し、申請した内容とリストとの間で、相違がないか確認を徹底して貰う。
28	演舞	下石井公園		【演舞受付シート】 演舞会場毎の記入が必要で、また記入に時間がかかり、踊り連の負担が大きい。	事前に配布したシート以外の記入は当日き会場での記入となるため。	記入シート様式を事前にデータで配布したり、曲出しのタイミングは、エントリー時に入力するなど簡素化を検討する。
29	演舞	中央町		演舞スペースを越えた演舞をする踊り連がいた	演舞スペースを明確にできていなかったため	演舞スペースの明確化
30	演舞	中央町		ナイト演舞では演舞前に映像を流すことで踊り連のモチベーションが上がっていた		
31	演舞	中央町		ステージなしにより桟敷席で見なくても奥まで見ることが可能 踊り連とお客さんの距離が近くよかった		
32	演舞	中央町		前の踊り連が演舞中にもかかわらず円陣を組んでいる連がいた	禁止となっているが連へ周知できていなかった 待機場所へ張り紙での注意を怠った	連への再度連絡 待機場所へ張り紙での注意
33	演舞	中央町		踊り連の登録証再発行が多かった		踊り連への周知徹底
34	演舞	中央町		たばこのポイ捨てが見受けられた		MCからの強化訴え スタッフが各々で拾っていた○
35	演舞	中央町		踊り連の幟回収し忘れがあった		踊り連への周知徹底

第26回うらじゃ実行委員会反省シート

No.	部会	会場	記入者	問題点(簡潔に)	発生理由(簡潔に)	改善策(簡潔に)
36	演舞	未来スクエア		イオンインフォメーション前に踊り連が固まって休憩したり、写真を撮ったりしており、イオンインフォメーションより注意を受けた。	演舞場から離れているため、気が付きにくい。次の演舞まで時間のある連が待機していることがある。	定期的に巡回し、大勢で固まらないよう呼びかける。待機連である場合は待機スペースに来るよう呼びかける。
37	演舞	未来スクエア		踊り連が捌けた後、大勢でエレベーター前で休憩し、通路をふさいでいた。	エレベーター前が広いので、そこに流れやすい。	大勢で固まらないよう呼びかける。捌けた後はそのまま流れていくよう誘導する。
38	演舞	未来スクエア		捌けた後、総踊りに参加する連が受付付近で待機し、通行の妨げとなっていた。	総踊り前に待機するスペースがない。	総踊り前のみ受付パーテーションを手前にずらし、通行の妨げにならないようにする。
39	演舞	未来スクエア		連を二つに分けていた連が、登録証を持っていなかった。別会場から持ってきてもらった。	登録証がなくてもエントリーできると認識していたようである。事前エントリーになったからそのように勘違いされたのかどうかは不明。	例年より再発行が多かったことも合わせ考えると、事前エントリー会場が増えたため登録証の必要性が認識されにくいのかも知れない。登録証は必要だと事前の代表者説明会で強調する必要があると思う。
40	演舞	未来スクエア		こども演舞場で、演舞スペース内に、小学生以下が明らかに6割いない状態で演舞した踊り連が2つあった。 (他の踊り連には、子どもが数名出れなくなったから、人数を計算して大人も人数を減らして、ルールを守る取り組みをしてくださった踊り連もあったのに)	こども演舞場参加資格は、演舞スペース内に小学生以下が6割以上という事を… ・踊り連が知らなかった、意識していなかった? ・エントリー時に演舞場スタッフが確認しなかった? ・待機場にいる際に気づいていたが「まあ、エントリーしたんだから…」と黙認してしまった	・募集要項の文面を強調する ・エントリー時に1連ずつ確実に電話確認する ・待機場にいる際、子どもが少ないと感じたら、人数を数え、会場責任者や大人スタッフの裁量で、踊り連代表者に人数の調整をお願いする
41	演舞	未来スクエア		受付正面のエレベーター付近に踊り終わった連がたむろし、通路の邪魔になっていた。また、何度注意しても退けてくれなかった	踊り連の写真撮影の場になってしまっている	次年度の代表者説明会時に注意を促す
42	演舞	東A入口		受付が分かりにくいという声があった	西向きのため、日が当たらないように簾をしていた為	給水テントの横に受付があっても良いのではないか。 受付の前に簾を置くことを代表者説明会で伝える。
43	演舞	両備HD		給水所でのチームマネージャーの役割	給水所にマネージャーが来ない	受付時、待機連への周知徹底
44	演舞	両備HD		踊り連が待機スペースを認識出来ておらず入り口や、受付前にたまっていることがあった	日光を遮るため給水所によらずをたてかけていたこと、受付の少し奥に待機場所があったため見えづらかった	待機スペースが分かりやすいようなのぼりや掲示物を分かりやすく置く。立ち入り禁止スペースの掲示物の向きが定まっておらず人が溜まったことがあったため、禁止スペースをコーンでかこい、外に向け掲示物を貼る。
45	演舞	両備HD		当日エントリーに関して、何時以降並んでいいのか明確なアナウンスができていない	先頭の連が、24時から並んでいたそうで、両備様より注意を受けた。しかし、踊り連に対しては場所取り時間を明示していないため、現状では注意できない。	代表者会議や資料にて、どのような説明をするのか、今一度考えないといけないです。常識の範囲内などと濁すと、認識の相違が起る。両備の担当者様からは、「こんな時間から並ばれるのであれば、今後は事前エントリーの会場にしていきたいと思います」と言われました。
46	演舞	市役所筋		待機:入場が遅れた連があった	連がMC後に円陣を組みだしたため	注意説明と声掛け

第26回うらじゃ実行委員会反省シート

No.	部会	会場	記入者	問題点(簡潔に)	発生理由(簡潔に)	改善策(簡潔に)
47	総おどり	表町		警備スタッフへの警備に必要なレクチャー不足	表町の総おどりにおいては、人員は用意できたものの警備スタッフへの周知が出来ず、結果、分かるものが非常に動いてしまった。	当日はパレードを開催しており、スタッフを集めるには時間がないことから前日までの説明会において周知を行い、当日は主な変更点のみを案内するべき。
48	総おどり	総おどり開始前		赤および緑ゾーンの踊り連のみを対象とした待機スペースに青や黄ゾーンの踊り連がいた。	第2回代表者説明会でも周知したつもりであったが、各連において判断が違っていた。	周知方法や待機場所の確保などが必要かもしれない。
49	総おどり	総おどりで中		良かった点として、進行役に踊り連からの募集を行うことで、進行内容に様々なバリエーションが出来たと考える。		今回のみならず、来年以降も募集を早め、事前の練習等、準備を行うことでもっと良い進行ができると思う。
50	総おどり	総おどりで中		良かった点として、自主警備に協力してもらった踊り連が非常に効果的に動いていただき、各ゾーン責任者からも止めるようなことがなかった。	時間にはギリギリとなったが、踊り連の協力は非常に心強かった。	もっと早く事前準備を行うことで、より警備に関する周知ができるのではないかと考える。
51	総おどり	総おどりで中		良かった点として、私が部会長をさせていただいて、最もスムーズに進行が出来た。また、一切警察からの指摘もなかった。	赤ゾーンの混雑具合が例年になく少なかったこと。また、自主警備に協力してもらった踊り連の協力や実行委員会メンバーの協力。何より警察からの理解があったものと推測している。	来年以降もこのような総おどりを継続したい。

第26回うらじゃ実行委員会反省シート

No.	部会	会場	記入者	問題点(簡潔に)	発生理由(簡潔に)	改善策(簡潔に)
52	総務	全体		演舞場で踊り連の登録状況に大きな差が見えました。		演舞場数の検討が必要かと思いました。
53	総務	全体		マスコミの、取材に関する問い合わせが当日多いです。	報道説明会の不参加社が居る	報道説明会を2回に増やすか、欠席する方へのフォロー(個別に事務局にて説明を行う)を徹底する必要がある
54	総務	全体		手荷物、自転車等の置き場問い合わせ(ボランティア)	手荷物、自転車を預けられない旨の周知を徹底出来ていなかった。	周知徹底する。自分の持ち物は自分で管理する。
55	総務	全体		公式ガイドブック、うちわの減り方が、各会場にて大きく異なる	均等に配分を行った為	残数をチェックして、減り方が大きい箇所へスムーズに補充できるようにする
56	総務	本部		市筋本部テントの大きさが、小さいと感じました。		スタッフ待機場と、備品置場を設定してはどうでしょうか。
57	総務	本部、駅前本部		ガイドブックの問合せが多くありました。		問合せは本部に来るので、ガイドブックを多く配置する。
58	総務	市筋パレード		熱中症の発生が急増しました。	2日目の午後の為	注意喚起、アナウンスの徹底(少しでも体調の思わしくない踊り子は、演舞を控えてもらう)等
59	総務	うらじゃ魂(受付)		踊り連スタッフが演舞場受付と間違えていた。	演舞場と同じ受付のぼりを使用したため。	受付のぼりを使用しない。 うらじゃ魂専用ののぼりをつくる
60	総務	うらじゃ魂(練習)		練習場所が暑かった。	直射日光は当たらないが、風が通らない場所だったため思いのほか暑く感じた。	戸外日陰の場所を検討 クーラーを強めてもらう 簡易扇風機の設置/小型扇風機をうらじゃ魂グッズとして販売
61	総務	うらじゃ魂(演舞中)		演舞前に熱中症者が出た。	本人の言葉を鵜呑みにしてしまった、救護室に行き、無断帰宅したことを確認している。	今後も同じようなことがある場合に備えて受付表に注意書きを表記し、了承してもらう。
62	総務	うらじゃ魂		踊り連に対して参加者受け入れのお願いをしたが、参加者に対して踊り連の情報を具体的に伝えていなかった。	宣伝不足	うらじゃ魂Facebookにうらじゃ魂協力連を紹介する。(理想は今年中)
63	学生	下石井公園		PR直前、どのような形式で進んでいくのか、言う内容がこれでよいかなどバタバタしてしまった。	事前の準備が不十分であった。具体的にどのように進行していくかを把握できていなかった。	メンバーを早めに決め、メンバー間で連絡を取れるようにしておく。取りまとめる役をひとり作る。